

## 「インド文化史上の宝石」セミナー

～ 日本の歴史学者から見たインド ～

2012年11月20日（火）14:00～16:00

講師：東京外国語大学 大学院総合国際学研究院

教授 藤井 毅氏

講座概要：インドでは、中世から近代初期にかけて、イスラーム教とヒンドウー教の双方において、宝石を主題とする文献が書かれてきました。宗教伝統を異にするものの、両者は決して排他的に存在していたわけではなく、そこでは、相互の影響が明白に見て取れます。本講座では、インド亜大陸に暮らす人々の中で、宝石をどのようにとらえてきたのかを歴史の中で探っていった。

会場：JJA 会館 3F 大会議室

参加者： 30名（申込 41名）

### <アンケート集計>

#### 1. セミナーについて

①セミナーは全体的にどうでしたか?	「良い」	14
	「やや良い」	5
	「やや悪い」	0
	「悪い」	0
②セミナーの時間は	「長い」	1
	「適当」	17
	「短い」	1
③セミナーの内容は	「良い」	13
	「やや良い」	6
	「やや悪い」	0
	「悪い」	0
④講師について	「良い」	15
	「やや良い」	4
	「やや悪い」	0
	「悪い」	0

## 2. 自由意見

- ・個人的には難しい点もありましたが、インド人と宝石の関わりについて理解を深められて良かった。
- ・資料との説明の結びつきがややわかりにくかった。
- ・大変聞きやすいお声で流れるような話し方で、分かりやすかったです。願わくば、もう少し、ゆっくりお話しいただけると、メモがとりやすかったと思います。(メモがとれたのは、半分くらいでした。・・・残念)
- ・大学で教えている方のセミナーはとても素晴らしいです。難しい引用など後程調べてみたくなりました。また、楽しいセミナーでした。有難うございます。
- ・インド文化について初めて触れる内容ばかりでしたので、大変興味深く伺いました。宝石の販売・流通とは無関係な別の専門家のかたの話は大変新鮮に思いました。
- ・セミナー時間を午前中に行うのは無理なのでしょうか？
- ・違う目で宝石を見て面白いです。生活の中に使う価値観等、新鮮に感じました。
- ・お客様に対するセールストークの構築などには体系だったお話と共に、こぼれ話的なものも有用ですので、それに類するお話がもう少しあると更に有難かった。
- ・分かりやすく話し頂けて、内容もとても面白かった。宝石の由来の知識として持っておくと自分自身の幅が広がり、役立つと感じました。
- ・インド、アラブの宝石の考え方が学べて面白かった。
- ・宝石が文化と結合している点がインドの強みだと感じました。

## 3. 今後希望するセミナー

- ・産出国の状況などや今回のように文化面からアプローチするもの。
- ・プラチナの歴史、アメリカ宝飾の歴史等
- ・「西洋美術史」「西洋服飾史」について体系的に
- ・今回のセミナー第2弾を希望、スライドでの美術や仏像等の紹介に興味があります。
- ・今回のように文化レベルの高い内容のセミナー
- ・実際に何点か現物を見れるセミナー
- ・他国（例えばアメリカとか、先住民とか、）の宝石の歴史

以上